

豎山雄太先生からのメッセージ

コロナウイルスの影響で休校になり早 2 ヶ月、皆さんはどのようにお過ごしでしょうか。

緊急事態宣言も 39 県で解除され、みなさんの日常生活が戻って来るまでもう一踏ん張りです。

さて私は令和 2 年度の人事異動で、千葉県立茂原樟陽高校に異動になりました。成田西陵高校では 1 年間だけの勤務になりましたが皆さんとはたくさんの思い出を作ることができました。大学を卒業して、昨年 4 月に九州宮崎から単身で千葉に来た私をこころよく受け入れてくれました。また授業を持っていないクラスの皆さんも気軽に声をかけていただき、とても嬉しかったです。特に授業を受け持った食品科学科の旧 1, 2 年生のみなさんは接する機会も大変多く、たくさん話をしたり、時には厳しいことを言ったり、1 年を振り返ると思い出が昨日のこのように蘇ってきます。皆さんが卒業し社会へ旅立っていく姿を近くで見送ることができないことがとても心残りです。しかし、みなさんなら立派に残りの学校生活を終えて、卒業できると私は思っています。

結びに、高校生活は人生 80 年といわれる内のたった 3 年

間しかありません。24年しか生きていない私から言えることは、一生付き合っていける「友」を見つけてください。社会はみなさんが思っている以上に辛く、苦しいことが多いと思います。そのような中で愚痴を言い合ったり、一緒に遊んだりする友が1人でもいれば心の支えになります。私も高校時代の友人とは未だに、連絡を取り合って、時にはお酒を酌み交わしています。(みなさんは20歳になってからですよ!)「高校の友は一生の友」と言っても過言ではありません。是非、高校生活で一生の友を見つけてください。

それではまた会える日まで……。

茂原樟陽高等学校 豎山 雄太